

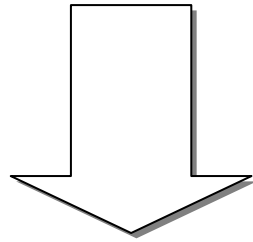
外部活力導入の円滑化に向けた各種しくみの位置づけ

外部活力の導入にあたっての基本的な考え方を定め、さらにその考え方に沿って具体的に外部活力の導入・運用にあたっての様々な局面において必要となる一連のしくみを整備するもの

(背景)

『新・豊中市行財政改革大綱』平成19年(2007年)8月策定

- 新たな行財政改革の局面を迎えるにあたり、公共サービスの見直し、外部活力導入に関する考え方の再整理が必要となるなか、新大綱目標「持続可能な行財政システムづくり」において、その目標実現に向けた一方策として「実施体制の最適化 外部活力の導入による体制の変革」を明示



(取り組み)

基本方針

『豊中市外部活力導入のガイドライン』平成20年(2008年)4月策定

- 公共サービスの5原則(公平・公正・安心・安全・安定の原則)を規定し、それを維持したうえでの外部活力導入を図るための基本となる様々な考え方を示すもの

『新・豊中市指定管理者制度導入に関する指針』

平成21年(2009年)3月策定

- 指定管理者制度導入や公募選定、さらには導入後の運営に関して一定の方向性を示すもの

■外部活力導入準備段階

『選定のための指針』平成22年(2010年)2月策定

- 指定管理者制度導入や公募選定の手続き、さらには導入後の運営に関して一定の方向性を示すもの

■外部活力導入決定段階

『標準SLA(サービス水準合意書)』

平成23年(2011年)2月策定

- 公共サービスの質の維持向上を図るため、提供されるサービスの品質についてあらかじめ外部主体との間に取り交わす文書

■外部活力導入運用段階

『モニタリングおよび評価の指針』平成23年(2011年)2月策定

- 外部活力導入後において、モニタリング(正常な運営状況が保たれているか定期および随時に確認する行為)、評価(成果指標の達成度等をふまえながら、複数の視点毎に結果を検証する行為)についての市としての統一的な基準を示すもの

『外部活力導入業務等における安全管理指針』

平成23年(2011年)2月策定

- 公共サービスの5原則のうち、安全管理の徹底を図るため、特に「安全」の部分に特化し、市としてなすべきことをとりまとめたもの

個別・具体的方針